

	8月	2026年度
組合同員ふやし	34人	500人
出資金ふやし	272万円	3,460万円
純増	228万円	1,233万円

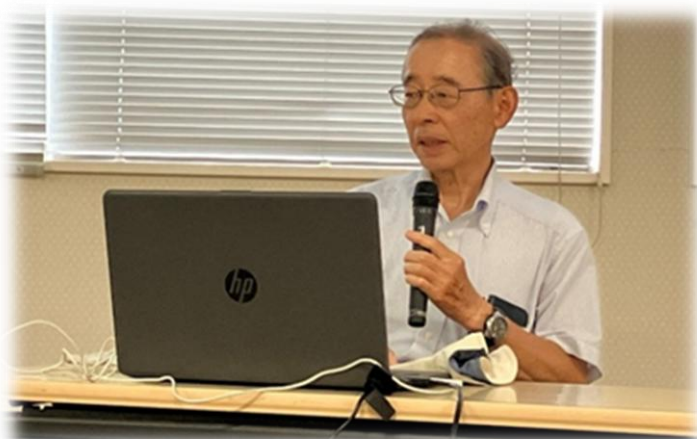
認知症になっても自分らしく暮らすために ～新しい認知症観に関する学習会～

7月29日（水）けんこうプラザ5階にて、新しい認知症観に関する学習会を開催しました。参加者は職員含め、55名でした。講師は認知症の人と家族の会 広島県支部副代表 山内雅弥さん。ご自身も認知症のご家族を遠距離介護しているため、会のはじめに「今日も母にあってから来ました」と柔らかい物腰でお話を始められました。

講義は認知症の種類や軽度認知障害との関係など基礎的な話から始まり、治療薬や予防のための推奨項目などに触れ、最後は「認知症になっても自分らしく暮らしていくことができる」と締めくくられました。

質疑応答では多くの方から手が挙がりました。挙手の多さから、講義前に皆さんが話していた、認知症はあらゆる面で既に自分事であるという意識がとても伝わってきました。

講義内で特に印象的だったのは、「診断を受けても、昨日までと生活が大きく変わるわけではない」という一言です。従来の認知症観に立つと、診断が下った途端それまでの生活を送れなくなってしまうのでは、と思ってしまいます。しかし、診断を受けてたちまち何かが変わるわけではありません。生活はこれまで通り続きます。そんな当たり前を私たちはつい見落としがちなのだと気づかされる言葉でした。



この学習会は、「新しい認知症観」を広めていくための大きな一歩となったと思います。今後は介護や地域といった、多様な視点に立って認知症を考えることができる場を設けていきたいと思います。

